

学術総会が開催される大阪国際会議場「グランキューブ大阪」は、大阪市内の中心にあり交通の利便性も良く、学術総会の合間には“天下の台所”大阪のうまいもんをご賞味いただき、日頃の疲れを癒して頂ければ幸いです。多くの皆様のお越しを心よりお待ちしております。

最後になりましたが、会誌がお手元に届く7月にはコロナウイルス感染が治まっておりますことを専ら願うばかりです。

会 期：2021年6月25日(金)・26日(土)

会 場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

プログラム(予定)：基調講演、会長講演、招待講演、特別講演、教育講演、教育セミナー、シンポジウム、一般演題(口演/ポスター)、クリティカルパス展示、ランチョンセミナー、市民公開講座

問い合わせ先：第23回日本医療マネジメント学会学術総会
事務局 社会医療法人生長会 法人本部事務局
担当：杉田拓臣(経営企画部)

〒599-8247 大阪府堺市中区東山500-3

ベルランド総合病院 管理棟3階

TEL：072-289-8005 FAX：072-289-8050

E-mail：jhm2021@seichokai.or.jp

運営事務局 株式会社コングレ 大阪本社内

〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-6-13

コングレビルディング

担当：前川教江

TEL：06-6229-2555 FAX：06-6229-2556

E-mail：jhm2021@congre.co.jp

たり、努力を重ねていくことが分かり、同じ医療安全の役割を担う者として励みになった。また、日本の医療



会場風景

安全を牽引する医師からの言葉は、今後目指す医療安全像を再認識することができ、貴重な時間となった。

医療安全におけるコミュニケーションは、重要であると認識され、そのトレーニングも実施されているが、その効果を再発防止だけではなく、よりよい医療の質向上を目指すためにも、可視化できる取り組みが必要なのではないかと考える。コミュニケーションは、医療人として、やらされ感ではなく、当たり前のこととして実践できる環境を作るために、諦めずに、こつこつと続けていきたいと思う。

2019年度医療安全分科会に参加して

森山リハビリテーションクリニック地域包括連携部
主任 井坂恭輔

今回の分科会は「医療安全とコミュニケーション」をテーマに掲げ開催された。有床診療所である当院でも、医療安全管理体制の確保が義務付けられており、規模は小さいながらも日々リスクマネジメントについて検討を重ねている。医療事故は個人の努力だけでなく、チームや組織の在り方の改善なしには防止できない。ご講義の中でも「チームであることがそもそもリスクである」という話が聞かれた。エビデンスに基づいた、かつ、現場で生かすことのできる体制の構築が求められている。

また、分科会のプログラムにワークショップを取り入れていただいたことで、所属機関や立場が異なる参加者の方から、様々な角度の意見を聞くことができた。体制作りも重要ではあるが、どこの医療機関でも、職種による意識の違いやコミュニケーションの難しさといった問題が多く存在するようであった。多職種が連携し医療安全に取り組むための風土作りに向け、業務の見える化や他職種の専門性を理解するといった取り組みを実施するのも有効な手段だという話も聞かれた。

今回の学びを現場で生かし、更なる医療安全体制構築に取り組んでいきたいと思う。

分科会

開催報告

2019年度医療安全分科会に参加して

北里大学病院医療の質・安全推進室 土屋志保

コミュニケーションは、エラーの背景要因として多くを占め、特に医師とのコミュニケーションに苦労する場面が日常的にある。今回、「医療安全とコミュニケーション」というテーマで分科会が開催され、人を動かすリーダーのコミュニケーションや、地域コミュニケーション、医師とのコミュニケーションについての講義があり、さらに、その内容を踏まえたグループワーク、演者との対話式発表がされた。

どの病院、どの部署においてもコミュニケーションに課題をもっており、それに対しシステム的に工夫し